

2009 年（平成 21 年）5 月 22 日

NEWS RELEASE



関西国際空港株式会社

広報グループ TEL:072-455-2201



～万博まであと1年～

上海から届いたアートと風景 パネル写真展の開催

関西国際空港株式会社では、就航都市の観光局等とともに積極的な利用促進を行い、航空需要の喚起を図っております。

その一環として、このたび関西国際空港旅客ターミナルビル4階中央「翼の広場」において、以下のとおり「上海から届いたアートと風景 パネル写真展」を開催いたします。

今回の写真展は、上海万博を2010年に控えて急速な発展を遂げる上海の今を伝えるとともに、上海の生活や文化を色濃く残した絵画「農民画」などを通じて、まだまだ数多く残されている伝統的な生活風景や町並みなどの上海の純粋で素朴な一面も紹介するものです。

上海が持つ観光の魅力の新たな一面を紹介することで、関空＝上海間のさらなる利用促進を目指します。

<概要>

名 称：上海から届いたアートと風景 パネル写真展

主 催：上海市観光局 日本国際処

協 力：関西国際空港株式会社

開催期間：2009 年 5 月 25 日（月）～5 月 31 日（日）

開催場所：関西国際空港旅客ターミナルビル4階中央「翼の広場」

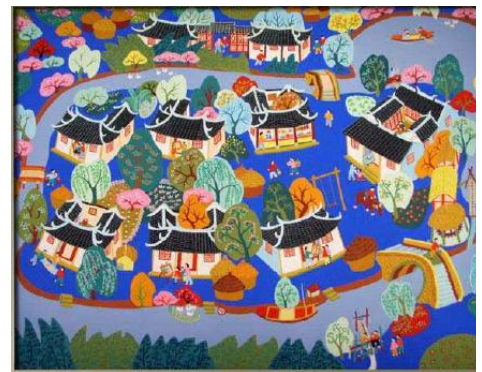
展 示 数：上海農民画ほか 約 30 点

《農民画とは》

農民画とは、中国の農民が農作業の傍ら日常の風景や伝統文化などを描いた画で、なかでも上海の「金山農民画」は中国3大農民画の一つにも数えられ、収集家の間でも人気があります。（2007年世界無形文化遺産登録）

もともとは年画（新年を祝う絵）が始まりでしたが、1960年代の文化大革命の頃に年画の華やかさが弾圧の対象となり、農民の日常や作業風景、勤勉さを描いたものに変化していき、現在の農民画の画風へととなりました。

鮮やかな色使いや様々な構図を用いた素朴で温かみのある絵は、見た人の心をほのぼのと和ませてくれることでしょう。



ホームページ <http://www.kansai-airport.or.jp>